学校番号	T3017

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 最新 数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

比較的計算内容の少ない，『集合と論証』の内容を学習します。特に，『集合』は，数学Ⅰ・数学Ａのどちらにも登場する内容です。しっかり取り組むことで，数学的な見方や考え過ｔの伸長に繋がります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
集合と論証についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
集合と論証について，問題を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。
【学びに向かう力。人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	集合と論証についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	集合と論証について，問題を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え，数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	集合と命題	集合と部分集合 共通部分，和集合，補集合	a:集合の基本的な概念を理解し，和集合や共通部分を求めることができる。 b: 集合の性質に着目し，定理を見出したり，論理的に説明したりすることができる。 c: 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感し，集合を今後の生活や学習に活かそうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
後期		命題と集合 命題と証明	a: 命題の基本的な概念を理解し，適切に判定することができる。 b: 定義や関係性をもとに，定理や性質を考察し，説明することができる。 c: 命題の性質を論理的に粘り強く考え，逆・裏・対偶から，文章の意味について考察し，今後の論述等に活かそうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 定期ﾃｽﾄ	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度